



令和5年度 第10号
令和5年7月21日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

1学期の最終日。終業式では、「自分に打ち勝つ」ことをお話しました。



本日で、1学期の教育活動を終了いたしました。思い返せば、4月、5月はあっという間に過ぎ去り、「脱コロナ」の中、授業参観や引き渡し訓練などの行事も、以前と同じように実施することができました。しかし、6月の大雨の際には、子どもたちも保護者の皆様も大変心配されたことと思います。自然の恐ろしさを十分に思い知らされた出来事でした。そして、7月です。猛暑日も続きましたが、子どもたちは元気に学校生活を送ることができました。水泳学習も無事に終了しました。プールおさめの記録会では、多くの保護者の皆様が参観される中、子どもたちが、自分のベストを目指して記録に挑んでいました。

各学級での学習も、それぞれの学年の教科内容を順調に進めることができましたようです。子どもたちみんなががんばった成果であるとも言えます。もちろん、日々、教材研究を重ねる学級担任の努力があったのこともご理解いただければ、うれしい限りです。2学期もこのような学びを重ねていきたいと考えます。こういった努力の積み重ねが、子どもたちの資質・能力の育成につながるのです。2学期は、運動会なども計画しています。各ご家庭には、これまた、ご協力をお願いしたいところです。

本日は体育館で終業式を行いました。1学期本当ががんばった子どもたちに何の話をするかとずいぶん悩みましたが、「クモとお坊さん」のお話をしました。詳しくは、裏面に全文を載せておりますのでご覧ください。簡単に言いますと「自分の中の甘い心に打ち勝つこと」について話をしています。夏休み前としては、最適な題材ではなかったかと自負しております(笑)。

人はついつい、自分自身の「気持ちの甘さ」に負けて、「やるべきこと」をおろそかにしてしまいがちです。子どもたちがスクリーンタイムにはまってしまうのも、その一つの例ではないかと思えます。夏休みは特に、自学自習が基本の毎日になります。各ご家庭で、毎日のルーティンを話し合い、ルールづくりを行って、人の言われてからするのではなく、自ら進んで「やるべきこと」に向かうことのできる子どもたちに育ててほしいとも思っています。

これから、8月29日の2学期始業式の日まで、子どもたちは各ご家庭、地域で過ごすこととなります。よろしくお願いたします。(校長)

(裏面へ)

校長先生の虫眼鏡「1学期終業式のお話」

1学期 終業式 校長先生のお話。(全文)

みなさん、おはようございます。あっという間の1学期でしたね。校長先生は、今少し寂しい気がしています。なぜかと言いますと、明日から夏休みです。1カ月以上もお話ができなくなる人もいるのではないかと考えると、少し寂しいのです。それだけ、本荘小学校のみなさんは、まわりの人たちにとって大切な存在なのです。おまえておいてください。

では、1学期最後のお話をします。何のお話だと思いますか？ 夏休みになると、つつい出てしまうクセがあります。なんだかわかりますか？

それは、なまけクセです。いや違う。大丈夫って人もいるでしょうね。そういう人はよいのです。校長先生が子どもの時に一番苦労したのが、このなまけクセでした(笑) おかげで、夏休みの終わりごろには、毎日何十ページもの残したドリルをやったり、自由研究に追われる毎日でした。泣きそうになりながら仕上げるのですが、次の年も、同じようなことをくり返していました。言い訳は上手ですので、やれ、国語は難しいとか、算数はややこしいからとか、理由はどうにでもつけていました。でも、勉強に集中できないのは、自分の心のせいだったんだなあと思っています。そんなことを考えてほしいので、あるお坊さんのお話をします。

昔々、あるところに、一人のお坊さんがいました。お坊さんは、一生懸命に毎日修行をしていました。誰よりも修行やお勉強をしようとするのですが、お勉強しようすると大きなクモが出てきてお坊さんの邪魔をします。修行も全然はかどりません。そこで、クモを追い払います。クモがいなくなると修行の続きをしますが、スタートするとまたクモが現れるのだそうです。全然修行にならないので、自分の師匠、先生に相談しました。

先生は、「クモが出てきたら、スミで印をつけておくとどこから出てきたのかわかるよ。」とアドバイスをしたんだそうです。

次日、修行の時にクモが出てきたので、つかまえて、スミで印をつけました。これで、クモがどこから出てくるのかわかると思うと安心して、修行に集中することができたのだそうです。お勉強が終わって、調べてみるとスミのしるしは、なんと、自分の体にあるではありませんか。つまり、そのクモはお坊さんの体の中から出てきたんだと!!みんな、この意味わかる?なんか怖いね。

実は、そのクモは、本物ではなく、修行やお勉強をしたくないというお坊さんの、弱い心がクモの姿となって出てきていたのです。幻だったのでしょう。

このお坊さんは、本当は修行やお勉強が好きではなかったのです。だから、お勉強中も他のことをお考えていたのかもしれないね。みんなも授業中ないですか、消しゴムや定規で遊んでいたりすること。そういう心がクモになったというお話です。

このお話は、みなさんにも言えることではないでしょうか。国語は難しい、算数はややこしい、塾に行けば疲れるし、ピアノの練習はプレッシャーがかかるか・・・、なんか自分たちが使う言い訳こそがこのクモの正体なんだと、校長先生は思います。

その言い訳は、自分たちの「本当はやりたくないなあ」という甘い心から生まれてきているではないでしょうか。

と、言うことは! 甘い心に打ち勝つ、強い心を持っていれば、言い訳やこのクモは出てこないのです。ちゃんと勉強をすれば、いろいろな言い訳は必要なくなるのです。

要は、自分の心か問題だということですよ(笑) 夏休みは、基本的に自分で考えて、計画して、試験して見て、分析して、またできていないところを練習するというサイクルで学習を進めることが理想だと思います。逃げ道や意味のないゲームや動画なんてものに惑わされないようにしてほしいなと思います。することがないときは、トレーニングしたり、読書したりすることも大事だと思いますよ!

繰り返しますが、明日から、夏休みです。自分で計画を立てて過ごしてほしいと思います。校長先生も目標を持っています。

その1 早寝、早起き、ランニング。早起きは4時30分

その2 掃除、洗濯、犬の世話。お皿洗いもします。

その3 読書、お仕事、趣味・遊び。読書は20冊!

です。みなさんも今年の夏休みはこれがかんばりました! といえる夏休みにしてください。

2学期は、ここにいる全員が8月29日の2学期始業式に全員そろうことができるように、「自分の命は自分で守る」を合言葉に、事故や病気、けが、事件に気をつけて過ごしてください。始業式で、全員元気な顔を見せてください。楽しみにしています。では、夏休みも、思いやりの心で笑顔の本荘小で。